

## 花畑花守会設立の経緯と活動状況

R1年6月15日

大塚 恒夫

平成21年、自治会長を拝命した時、自治会のイベント予算として10万円が計上されており、自治会前役員会で予算化されたものでとんでもないことを引き継いだものと一時途方にくれました。さてとんでもないものとはいえ何かをしなければと考えていた時、近隣公園で小学生から”花畑と言う地名なのに何で公園に花が無いの”と言われ、これをやることと重い腰を上げました。

最初の仕事として、まずひだまり公園に花壇を造ることとしました。当時、花の名も全く知らず、どう育てたら良いかもわからない中で、退職後、自転車で毎日通い続けた中央図書館への途中の松見公園で花壇造りをしていた花植えボランティアをしていた女性に申し出て、教えを乞うこととしました。

毎週火曜日午前中をボランティアとして松見公園に通いました。松見公園には、「癒(いや)しの庭」「歩みの小径」「アリスの窓」等があり、また隣のメデッカルセンター病院前のペディストリアンデッキには「紬(つむぎ)の庭」があり、花の大好きなボランティアが遠くは荒川沖や石下町から駆け付け花を育てて楽しんでいました。その中心となって活躍しておられたのが、市内から来ていた女性でした。NPO 法人「つくばアーバンガーディニング」(TUG)立ち上げて理事を務めていたことからいろいろ手ほどきを受け、少しずつ花の名も知るようになりました。

その頃、市の市民活動課から「ウェルカムフラワーCity つくば」での花苗(約80本)の無償提供があり、花苗の調達にも寄与することが出来ました。

ひだまり公園に花壇を造るに際し、花壇の縁石は、森林研究所から無償でいただいた角材で作りました。併せて腐葉土もいただき何とか形ができたことが鮮明に思い出されます。翌年、「大好き いばらき 県民会議」主催の花いっぱい運動に応募し定着化に努力されている団体として支援認定書(支援金)の交付を受けました。

翌年2丁目のどんぐり公園に、さらに3丁目の近隣公園、緑地公園と続けて小さな花壇を造っていきました。

この当時は自治会会員の内でも、当時のシルバークラブ会員が手を貸してくれ、特に軽部会長ご夫妻、飯島龍三郎様、大久保さん、吉原さん達が暑い最中も頑張っていたことが思い出されます。

その後、春・秋の花の植え替え時に、有志の皆さんにお願いして、各花壇のデザイン会を開き、花の種類、本数を決め、花苗の調達を行う手順が定着しました。また、夏場の水遣りも自治会会員からボランティアを募集し、当番をきめ実施するようになりました。毎年春・秋2回の、各班の班長さんには協力を御願ひしています。

平成24年から「大好き いばらき 県民会議」が「花と緑の環境美化コンクール」を主催の花いっぱい運動を継続するよう市を通じて毎年参加しています。応募することで1万円程の花苗とうの現物支給を受けています。

以上